

片翼の小さな飛行機

こんねんどの折り返し地点を迎えました。ピリッとせねば！と思いつつ、やっぱり変わらずのほほんとしていた9月5日の夜、東京2020パラリンピックの閉会式を見ました。すいこまれるような瞬間を感じたのはいつ以来でしょう…様々な色で彩られた世界に、一見ばらばらに散っているかのような光の粒が、一筋の光となって滑走路へと向かっていく。キラキラと輝きを放つ演者達を、やがて笑顔と涙の競技者達を取り囲む。芸術やスポーツは、しばらくの間不要不急だと言われている中、人間のもつ無限かつ不変の底力を感じたような気がします。みなさんは何を感じましたか？報道では、少しずつ暗いトンネルから抜け出せそうな明るい話題が見受けられるようになりました。油断は禁物ですが、人間らしいせいがかつが営めるようにと、願うばかりです。期末試験を一つの転機に、爽やかな秋の空へと大いにはばたいてください。来週、あなたの大切な『伴走者』と久しぶりの再会です！

生徒指導専任より



PS；前号の『伴奏者』は『伴走者』の間違いでした…お詫びして訂正します。